

令和元年度

北海道教育大学旭川校
地域連携活動事例紹介



令和2年

北海道教育大学旭川校地域教育連携・貢献推進委員会

目次

解説

地域連携活動 実施報告シートについて	・・・ 3
--------------------	-------

報告シート

・ 浜頓別町 夏休み・冬休み中の勉強会	・・・ 4
・ 上富良野高校サポーター派遣事業	・・・ 5
・ 浜頓別町 通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」	・・・ 6
・ 浜頓別町 土曜学習塾	・・・ 7
・ 北オホーツク100kmマラソン大会ボランティア	・・・ 8
・ 旭川西高校ゼミ体験学習	・・・ 9
・ エデュケーションカフェ2019	・・・ 10
・ 令和元年度なかとんべつ放課後子どもプラン 子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2019夏 子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2020冬	・・・ 11
・ 道北おとぼけキャラバン	・・・ 12
・ 小学校金管バンドの指導支援ボランティア	・・・ 14
・ 令和元年度 夏休みチャレンジ教室	・・・ 15
・ 旭川市立神楽保育所 「ボール遊びカード」共同制作	・・・ 16
・ 旭川市立神楽保育所 「ボール遊びカード」の効果についての研究	・・・ 17
・ 多寄町民健康教室指導	・・・ 18
・ 旭川市立新旭川保育所 所内研修会	・・・ 19
・ スポーツ少年団リーダー宿泊研修会	・・・ 20
・ 旭川市立神楽保育所豆まき大会	・・・ 21
・ 出前授業（釧路市立山花小中学校）	・・・ 22
・ 出前授業（釧路町立昆布森小学校）	・・・ 23
・ 出前授業（旭川市立桜岡中学校）	・・・ 24
・ 令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 課題研究英語発表会	・・・ 25
・ 令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 第1回中間報告会	・・・ 26
・ 令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 第2回中間報告会	・・・ 27
・ 令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 課題研究・課題探求発表会	・・・ 28
・ HOKKAIDO サイエンスフェスティバル	・・・ 29
・ わくわくサイエンス アサヒカワノカガク	・・・ 30

付属資料

・ 学生ボランティア派遣事業（概要）	・・・ 31
・ 令和元年度 授業公開講座／一般公開講座 開講一覧	・・・ 34
・ 令和元年度 大学訪問受入／出前講座 実績一覧	・・・ 35
・ 令和元年度 審議会等委員 派遣一覧	・・・ 36
・ 令和元年度 講演会講師・助言者等 派遣一覧	・・・ 40

【解説】地域連携活動 実施報告シートについて

このシートは、北海道教育大学旭川校の教員が主体として、または橋渡し役として行っている地域連携活動をまとめたものです。内容は、自治体や教育関係団体と本学教員が共同で行っている事業、本学教員による研修会・講演会、学生の派遣事業など多岐にわたっております。

なお、本報告は教員の自主申告に基づいており、必ずしも現在行われている地域連携事業のすべてを網羅したものではありません。また、内容が一部重複するところもあります。

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		夏休み・冬休み中の勉強会	
実施日時・期間		令和元年8月7日～9日, 令和2年1月14日～16日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	浜頓別小学校・浜頓別中学校
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	夏休み: 旭川校学生 2名 冬休み: 旭川校学生 5名, 大学院生 1名	
	対象者とその人数	浜頓別町小中学生	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小中学生への学習支援	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は, 浜頓別町教育委員会主催の, 長期休業中に学校で学習会を行うことで, 学習習慣を身につけ, 学習の楽しさを教えるとともに, 指導スタッフと世代間交流を実施することにより少年の健全育成を図ることを目的とするものである。午前は浜頓別小学校で, 教育委員会が用意した学習プリントを中心に2時間(9:30-11:30), 午後は浜頓別中学校で, 生徒の用意した教材を利用して2時間(13:00-15:00), 学習時間が取られた。</p> <p>今回は, 夏休みは音楽分野の学生2名が, 冬休みは音楽分野の大学院生1名と, 社会科教育専攻における教職実践演習の一環として, 5名の4年生が参加した。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		上富良野高校サポーター派遣事業	
実施日時・期間		令和元年9月, 11月, 2月	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	上富良野高校
		市町村名	上富良野町
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	旭川校学生 1名	
	対象者とその人数	上富良野高校生徒	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		要支援生徒の試験対策	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は, 北海道の「北海道高等学校学校サポーター派遣事業」の採択を受けた上富良野高校が, 特別な教育的配慮を必要とする生徒を中心に, 放課後の時間を利用して学習支援を強化することにより生徒の学習意欲や学力向上をめざし, 定期試験前の2日間につき数学を中心とした考查範囲の学習補助を実施するものである。本年度は9月, 11月, 2月の3回実施され, 数学教育専攻の学生が事業に参加した。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		浜頓別町通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」	
実施日時・期間		令和元年6月30日～7月5日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	永生寺
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	旭川校大学院生 1名	
	対象者とその人数	浜頓別町小学生 約20名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小学生の通学学習のサポート	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、浜頓別町教育委員会が主催するもので、小学校4年生から6年生を対象に、「子どもたちが、異年齢の集団の中で共同生活をしながら通学をする生活体験により、協調性や社会性を養うことを目的とする」ものである。町内の永生寺で実施されて30年以上が経過している息の長い事業である。</p> <p>本学は、浜頓別町との相互協力協定に基づき、本事業に対して学生の派遣を10年以上継続して行っている。本年度は、音楽分野の大学院生1名が参加した。</p> <p>本年度は以下のようなスケジュールとなっている。</p> <p>6月30日 オリエンテーション・夕食作り・銭湯体験</p> <p>6月30日～7月5日 朝食作り・夕食作り・銭湯体験・後片付け</p> <p>7月5日 朝食作り・まとめ</p> <p>学生は、活動全般で小学生をサポートした他、事業期間中毎日更新される浜頓別町教育委員会社会教育係ブログ・Facebook等のアップ作業も手伝った。なお、浜頓別町教育委員会社会教育係ブログは以下のURLから閲覧可能である(http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/sed/)。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 <u>[全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]</u>
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		土曜学習塾	
実施日時・期間		令和元年5月18日～2月15日(月1回)	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	浜頓別町図書館
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	旭川校学生 1名, 大学院生 1名	
	対象者とその人数	浜頓別町小中学生 約30名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小中学生に対する算数・数学の学習指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、「町内の小学校・中学校の児童・生徒が、月1回程度土曜日に定期的に学習することにより学力や体力の向上や習慣化を図ることを目的とする」ものである。参加対象は、小学校4-6年生と中学生で、小学生に対しては、英語・算数・運動(不定期)の3コース、中学生には数学コースを設け、運営者側が用意した教材にしたがって学習を進める。</p> <p>本学は、小学生向けの算数コースおよび中学生向けの数学コースについて、学生派遣を要請された。数学教育の大学院生1名と4年生1名の2名体制で派遣を実施した。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		北オホーツク100kmマラソン大会ボランティア	
実施日時・期間		令和元年7月27日～28日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	浜頓別町多目的アリーナほか
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	社会科教育専攻 角 一典	
	運営者とその人数	大学教員 1名, 旭川校社会学ゼミ学生 13名	
	対象者とその人数	大会参加者 616名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		前夜祭のサポート・エイドステーションの運営	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、浜頓別町が主催するウルトラマラソンで、今回で第9回となる。近年のマラソンブームもあり、また、本大会も年々認知度が高まり、今年は616名の参加となった。5時から始まり19時をリミットとする大会であり、さらには、参加者の増加も相俟って、ボランティアに対する需要が増加し、町内のボランティアのみでは運営が難しい状況になっている。</p> <p>2013年度末に浜頓別町を訪れた際、本大会への学生ボランティア派遣について話があり、以来、本学旭川校の社会学ゼミで大会にボランティアとして参加することとなっている。ゼミの年中行事の一つとして恒例化することになり、持続的な参加が可能な形となっており、今年度は教員1名と学生13名が参加した。</p> <p>本年度割り当てられた役割は、以下のとおりである。</p> <p>27日 前夜祭の準備・レセプション・後片付け手伝い 28日 A班 仁達布エイドステーション手伝い(7:10-15:10) B班 仁達布エイドステーション手伝い(10:40-18:40) C班 大会会場リザルト掲示(11:00-19:00)</p> <p>今年度も天候に恵まれ、日差しが厳しい中、学生たちは大会運営に貢献してくれた。本事業への参加は6年目となり、特に上級生を中心に、臨機応変な対応ができるようになってきている。浜頓別町にとっても、運営スタッフの一員として信頼のおける存在となっていると思われる。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 <u>[全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]</u>
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川西高校ゼミ体験学習	
実施日時・期間		令和元年11月1日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道教育大学旭川キャンパス
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		旭川西高校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	広報委員会	
	運営者とその人数	教員 36名, 旭川校学生 多数, 事務職員 1名	
	対象者とその人数	旭川西高校生 240名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		旭川西高校の1年生が大学のゼミ活動を体験する	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川西高校との高大連携事業の一環として取り組まれているものであり、西高の1年生を対象に、大学におけるゼミ活動に直接あるいは間接に参加し、大学における学習を体験させることを目的としている。タイムスケジュールは以下のようになっている。</p> <p>13:30 西高生来校 13:40 大学概要説明・OBOG在校生からのメッセージ 14:20 移動 14:40 ゼミ活動への参加(15:30を目処に各自解散)</p> <p>今年度は、高校生の受け入れに応じてもらえた36のゼミに3-20名の高校生を割り振り、ゼミ活動を体験してもらった。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答		【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		エデュケーションカフェ2019	
実施日時・期間		令和元年12月14日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道教育大学旭川キャンパス
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		大学からの提案	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学法人	
	担当者・担当委員会など	広報委員会	
	運営者とその人数	教員 2名, 旭川校学生 10名, 事務職員 2名	
	対象者とその人数	高校生 54名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		希望する高校生に授業づくりの体験をさせる	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川近隣の、学校の教師を目指し、本学に興味・関心を持つ高校2年生を対象に、授業案作成と模擬授業を体験してもらうことを中心としたものである。「先生になって学校の授業をしてみよう!」とのテーマの下、本年度は国語・英語・理科・技術・美術の5専攻分野に協力してもらい、大学生の指導・助言の下で、高校生が授業を組み立て、実際にグループの代表者が短時間の模擬授業を行っている。</p> <p>本年度は、54名の高校生が参加、各教科に10~11名ずつの高校生が割り振られ、各教科2名の大学生の指導の下で主に導入部分の授業の構成と代表者による模擬授業を実施した。</p> <p>最後の、大学生および高校生の感想では、高校生の頑張りをたたえる意見と、授業づくりの楽しさに触れる感想が多く寄せられた。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答		【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		令和元年度なかとんべつ放課後子どもプラン「子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2019夏・2020冬」	
実施日時・期間		令和元年8月5日～6日, 令和2年1月8日～9日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	中頓別町民センター・寿スキー場ほか
		市町村名	中頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		中頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		中頓別町教育委員会	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		有	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会 芳賀 均	
	運営者とその人数	大学教員 1名, 旭川校学生 各2名	
	対象者とその人数	中頓別小学校児童 数十名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		異年齢の子ども・大人との交流や, 体験活動を通じた多様な学習機会を設定し, 地域教育力の向上を図る活動	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p>【夏】 ○対象 中頓別小学校 1年生～6年生 ○場所 学習:町民センター 和室ほか 運動:山村水泳プール, 町民体育館 地域社会の中で, 異年齢の子ども・大人との交流並びに子どもたちの体験活動を通じ, 心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに, 地域の特色を活かした多様な学習機会を提供し, 地域教育力の向上を図ることを目的として, ①水泳にチャレンジ, ②釣りにチャレンジ, ③夏休みの宿題にチャレンジ, という3つの目標が設定された活動である。プログラム全般のサポートとして, 2名の学生が参加した。</p> <p>【冬】 ○対象 中頓別小学校 1年生～6年生 ○場所 学習:中頓別町民センター レクリエーション室ほか 運動:寿スキー場, 中頓別町民体育館 夏と同様の目的のもと, 運動と学習における目的を定め, 挑戦する意欲を高める活動内容で進め, 児童の体力づくりと学力向上を図ることが意図され, ①「スキージュニアバッジテスト」にチャレンジ, ②「道北の野生生物を知ろう」にチャレンジ, ③「苦手な勉強(科目)」にチャレンジ, という3つの目標が設定された活動である。プログラム全般のサポートとして, 2名の学生が参加した。 スキーは, 後日(1週間後), ジュニアバッジテストが開催され, 子供たちは合格したとのことである。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		道北おとぼけキャラバン(出前授業含む)
実施日時・期間		令和元年5月～令和2年2月
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等 道北の各地
		市町村名 道北の各地各市町村
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		事業により、各市町村の教育委員会等との共催の場合あり
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		大学からの提案
学校支援ボランティア		無 ←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会 芳賀 均
	運営者とその人数	各回 大学教員 1名, 旭川校学生 5～6名
	対象者とその人数	各回 地域住民及び児童 数十名～100名程度
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		アウトリーチによる地域貢献としての音楽出前授業・音楽演奏等
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。		
<p>音楽分野の音楽科教育担当教員(芳賀)と、音楽分野の有志学生により、令和元年度は、主に以下の活動を行った。</p> <p>●キャラバン(出前授業含む)の記録</p> <p>R1.5.20留萌緑丘小学校:出前授業・通常の授業(リコーダー他)</p> <p>R1.6.7和寒小学校:学生楽団</p> <p>R1.6.11留萌緑丘小学校:出前授業・通常の授業(さくらさくら他)</p> <p>R1.6.21和寒小学校:学生楽団</p> <p>R1.6.24芦別市立芦別小学校:プログラミング</p> <p>R1.8.7旭川厚生病院:フルート演奏</p> <p>R1.8.31留萌緑丘小学校:出前授業(電子器機を使用した音づくり他)</p> <p>R1.9.10枝幸町立岡島小学校:出前授業(リミック他)</p> <p>R1.9.11留萌市立留萌小学校:出前授業(音楽鑑賞他)</p> <p>R1.9.17留萌市立留萌小学校:出前授業(音楽鑑賞他)</p> <p>R1.9.18留萌市立留萌小学校:出前授業(音楽鑑賞他)</p> <p>R1.9.26旭川厚生病院:フルート演奏</p> <p>R1.10.28和寒町民会館:学生楽団</p> <p>R1.11.6留萌緑丘小学校:出前授業(音楽鑑賞他)</p> <p>R1.11.16頓別小学校:学生楽団</p> <p>R1.11.18小平町立小平小学校:出前授業(プログラミング他)</p> <p>R2.2.5旭川厚生病院:フルート演奏</p> <p>本事業は、平成26年12月より、「道北おとぼけキャラバン」と称する、アウトリーチによる地域貢献としての音楽演奏等の実践である。音楽演奏の他、合科的学習を含む出前授業にも取り組んでいる。これまでの取組は、研究紀要や新聞の報道の文章からも、「演奏の出前」「芸術の普及」「需要の発掘」を達成するものとなっていると考えられる。また、音楽の分野に留まらず、地域貢献としての効果を得られたと考えられる。</p> <p>一方、本実践の意義として「演奏する学生にとっても、授業等の実践力の向上を図る場にする」「学生にとっては、通常の大学の授業によってのみでは得られにくい経験ができる。音楽の授業に近い形態で行う本コンサートの取組においては、授業方法について学べ、聴衆を相手にして実践する中で、それを経験することができる」といった点も挙げられ、教職への意識や地方への関心等に向上が見られた。</p>		

対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		小学校金管バンドの指導支援ボランティア	
実施日時・期間		平成31年4月～令和元年11月(主に火曜日, および土曜日にも実施)	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立近文小学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウニリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		大学からの提案	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウニリストから選択)	その他(学生等)	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻音楽分野 芳賀 均	
	運営者とその人数	大学教員 1名, 旭川校学生	
	対象者とその人数	旭川市立近文小学校ブラスバンド児童 約20名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		少年団活動として旭川市立近文小学校で伝統的に行われている金管バンド活動の指導支援	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p>音楽分野の1年生が, 4～11月にかけて, 旭川市立近文小学校において, 少年団活動として旭川市立近文小学校で伝統的に行われている金管バンド活動の指導支援を行う活動である。この少年団は, 3～6年生の希望者で構成されるが, 特に最上級生が卒業して3年生の初心者が加入してくる春の活動が困難さを抱える。指導者は教員2名とボランティアの保護者若干名であるが, そこに, 外部ボランティアを導入することにより, 譜読みや演奏法等に関する指導上の効果を上げるとともに, 学生の意識改革を促すことを目的としている。</p> <p>また, 秋のコンクールに向けて, 学生も感情移入しながら一緒に取り組むことにより, 教育という営みの有機的な面に気付いてもらいたいと考えている。</p> <p>なお, この事業は「教育フィールド研究Ⅱ」の一部として実施している。</p> <p>本学旭川校は中学校の教員養成に力を入れているが, 本活動を通して, 教科の専門的な内容だけでなく, 教育という営みそのものに学生の意識が向いたことが大きな成果である。1年生の4月という, まだ教育実習を経験しないどころか入学早々の時期から, 継続的に(やがては中学生へと育っていく)小学生の子供たちと触れ合ったことにより, 受け手の気持ちに気づき, 一方的な指導に陥らない感覚をもつことができたようである。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 <u>[全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]</u>
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		令和元年度 夏休みチャレンジ教室	
実施日時・期間		令和元年8月5日～9日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	利尻富士町立鴛泊小学校
		市町村名	利尻富士町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		利尻富士町教育委員会 利尻富士町健全育成町民会議	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	その他(学生等)	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻保健体育分野 三浦 裕	
	運営者とその人数	旭川校学生 7名	
	対象者とその人数	利尻富士町児童生徒 83名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小中学生を対象とした体験事業	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>令和元年度夏休みチャレンジ教室は、8月5日～9日の5日間利尻富士町立鴛泊小学校で行われました。本事業は、短期集中講座を実施することにより将来教員をめざす学生と子どもたち・自然とのふれあい、また、学習機会や様々な体験を提供することをねらいとした事業です。</p> <p>今回の夏休チャレンジ教室は、北海道教育大学旭川校から7名の学生を派遣し、利尻富士町から83名の児童・生徒が参加しました。</p> <p>5日間の活動は、学習支援として夏休みの課題取組、苦手教科克服、大学生考案のスポーツ体験やお楽しみレク・工作活動を実施しました。</p> <p>工作活動は教育委員会が考案したシーグラスランプ作りをしました。シーグラスとは人口のガラス製品が長い年月をかけ波の力で研磨されて独特の色や形をしたもので、この材料をグルーガンで接着させていきながらできた作品はどれも個性あふれる作品でした。</p> <p>大学生考案のスポーツ体験では5色つなひき・イスとりゲームや台風の目などたくさんのスポーツやレクを通して子どもたちと交流を深めていました。</p> <p>その他にも水遊びをした後の海水浴とプール遊び、四日目の夜は恒例のバーベキュー&きもだめし、みんなで花火をした後にはテントに寝泊りするキャンプ体験を実施することができました。</p> <p>今後も事業の継続に向け、大学や地域との連携をより一層充実するために学生や地域ボランティアの確保に努めるなど、更なる事業の充実を図っていきたいと思いますので、よろしくお祈りします。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答		【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市立神楽保育所「ボール遊びカード」共同制作	
実施日時・期間		令和元年5月29日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道教育大学旭川校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		旭川市立神楽保育所	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻保健体育分野 板谷 厚, 運動学ゼミナール	
	運営者とその人数	大学教員 1名, 旭川校学生 2名, 保育者 2名	
	対象者とその人数	旭川市立神楽保育所に通所する年少～年長児 約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		ボール遊びを促す運動遊びカードの企画	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市立神楽保育所が本年度実施する「運動遊びカード」プロジェクトに参画するものである。「運動遊びカード」プロジェクトは、保育所に通所する幼児の運動遊びを活発化することを目的とする。リズム遊び、縄跳び遊び、ボール遊びの3つのカテゴリーがあり、それぞれさまざまな運動遊びを紹介するカードを多数作成する。幼児または保育者がカードを選択し、カードで紹介されている運動遊び課題を幼児がクリアするとスタンプが押され、幼児ごとにファイリングされる。これにより、幼児の運動遊びに対するモチベーションを高め、運動遊びの機会の増加、遊びの活性化を促し、幼児の運動能力向上につなげようとする試みである。板谷は、ボール遊びカテゴリーの運動遊び内容について相談を受け、指導学生2名とともに、保育者2名との打合せを実施した。ボールを操作する動きの発達を促すことを目的に、保育者が運動遊びを考案・構成したカードが妥当なものか検討した。投げる動きの発達を促す遊びについては、次回までに担当学生に考案させることとした。今後、投げる動きの発達を目指した運動遊びを整理し、カードに落とし込むとともに、「ボール遊びカード」の効果検証のために幼児の運動能力測定を実施する予定である。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市立神楽保育所「ボール遊びカード」の効果についての研究	
実施日時・期間		令和元年8月～12月	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立神楽保育所
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚	
	運営者とその人数	大学教員1名, 旭川校運動学ゼミナール学生4名	
	対象者とその人数	保育園児約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		幼児の遠投能力と捕球能力の測定	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市立神楽保育所が本年度実施する「運動遊びカード」プロジェクトに参画するものである。「運動遊びカード」プロジェクトは、保育所に通所する幼児の運動遊びを活発化することを目的とする。リズム遊び、縄跳び遊び、ボール遊びの3つのカテゴリーがあり、それぞれさまざまな運動遊びを紹介するカードを多数作成する。幼児または保育者がカードを選択し、カードで紹介されている運動遊び課題を幼児がクリアするとスタンプが押され、幼児ごとにファイリングされる。これにより、幼児の運動遊びに対するモチベーションを高め、運動遊びの機会の増加、遊びの活性化を促し、幼児の運動能力向上につなげようとする試みである。板谷は、ボール遊びカテゴリーの運動遊び内容について相談を受け、指導学生2名とともに、投げる動きの発達を促す遊びを考案した。保育所にて「ボール遊びカード」を使った活動を実施してもらい、その前後で幼児の遠投能力と捕球能力とを測定した。これらの結果と、「ボール遊びカード」の取組状況との関係から、「ボール遊びカード」効果を検証した。本研究の成果は、2020年3月14、15日に宇都宮大学にて実施の、日本発育発達学会第18回大会にて発表予定である(新型コロナウイルス感染の拡大で当該学会大会は中止となったが、冊子体での発表に代替される)。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		多寄町民健康教室指導	
実施日時・期間		令和元年11月30日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	士別市立多寄中学校体育館
		市町村名	士別市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		多寄スポーツクラブ, 多寄スポーツ少年団	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚	
	運営者とその人数	大学教員1名, 旭川校保健体育分野学生11名	
	対象者とその人数	多寄町民約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		多寄町民健康教室において体力測定補助および運動指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、士別市多寄町民健康教室(主催:多寄スポーツクラブ・多寄スポーツ少年団)の要請を受けて、多寄町の小中学生および高齢者の体力測定や運動指導を実施するものである。本年度は、本学学生10名が参加し、準備運動から、体力測定、運動指導、休み時間に至るまで、地域の方々と積極的に交流した。準備運動では、小学低学年生から高齢者まで幅広く楽しめるオリジナル体操を考案し、指導した。子どもたちの体力測定は、地域のみなさまが中心となって行ったが、学生は適宜行い方を指導したり、測定の補助に入りサポートしていた。高齢者の体力測定は、われわれが主体となって実施した。担当の学生には健康状態のチェックから高齢者とコミュニケーションをしっかりとることを心がけさせた。普段接することの少ない高齢者との交流を楽しみつつ、運動能力の加齢変化に驚いた様子で、大変勉強になったとの感想も聞かれた。子どもたちが主役の筋肉番付では、行い方を指導するなど、大学の講義、実習、部活動等で日頃培った指導力を発揮していた。健康教室終了後は、慰労会が催され、短時間ながら地域の方々との交流し、地域にひらかれていることとはどんなことか肌で感じたようだった。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市立新旭川保育所 所内研修会	
実施日時・期間		令和2年1月23日, 2月20日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立新旭川保育所
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚	
	運営者とその人数	大学教員1名	
	対象者とその人数	旭川市立新旭川保育所職員24名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		運動指導の研修	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は, 旭川市立新旭川保育所の職員を対象にした, 幼児の運動指導力向上を目的とした研修会です。板谷は講師を担当しました。新旭川保育所では, 子どもたちの体力向上を目指して運動遊びに力を入れています。しかしながら, 遊びだけでは運動技能の向上にはつながらないのではないかと疑問や, 運動に苦手意識のある保育者が運動遊びを敬遠しがちになるなど, いくつかの問題もあります。そこで, 本研修では, 幼児期にできて欲しい運動課題を取りあげて, 課題達成のためのポイントと援助方法について, 実技を交えながら講演しました。2回にわたり実施し, 初回はマット運動をテーマに, 姿勢変化やバランスを取る動きの発達と援助を背景として, 運動課題に前転, 倒立, 側転などの指導方法を研修しました。2回目は, 初回の感想や要望も参考にして, 走・跳・投といった幼児期に身につけるべき粗大運動を課題として取りあげ, 発達の過程から援助方法を考えることをテーマとして研修を行いました。単に, 運動遊びの紹介で終わらず, 理論的背景にまで踏み込んだ充実した研修になったと自負しています。「段階的な指導法が理解できた」, 「課題達成のために必要な動きがわかった」, 「補助の仕方がわかった」など肯定的な感想が多く聞かれ, 他の運動課題を取り上げて欲しいなどの要望も寄せられました。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 <u>[全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]</u>
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		スポーツ少年団リーダー宿泊研修会	
実施日時・期間		令和2年1月25日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立富沢小学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		旭川市体育協会	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚	
	運営者とその人数	大学教員1名, 保健体育分野学生3名	
	対象者とその人数	小学生40名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		上川管内スポーツ少年団のリーダー養成宿泊研修会	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市スポーツ少年団主催のリーダー養成宿泊研究会をサポートするものです。対象はスポーツ少年団に所属し、リーダーとして活躍を期待される小学生約40名です。板谷は、講義「リーダーになろう」を担当し、リーダーとは何か、リーダーの役割、およびリーダーのタイプについて講話を行いました。同行した学生は、スポーツ活動の指導を担当し、学年性別の隔てなく楽しめるドッジボールを指導しました。研修後の感想文では、講話について言及されるものもありましたが、何といたってもスポーツ活動が楽しかったと述べる児童が多く、学生の指導が子どもたちの活動に活力を与え、モチベーションの高めたことをうかがうことができました。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市立神楽保育所豆まき大会	
実施日時・期間		令和2年2月3日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立神楽保育所
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚	
	運営者とその人数	旭川校運動学ゼミナール学生3名	
	対象者とその人数	保育園児約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		節分の豆まきイベント	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市立神楽保育所の節分豆まき大会の実施をサポートするものです。学生は、赤鬼、青鬼、および福の神に扮し、節分の豆まきイベントを盛り上げました。鬼役、福の神役以外の学生は、子どもたちに豆まきの手本を示しました。鬼を見て泣き出す子どももありましたが、子どもの純真な姿に心あらわれるとともに、子どもの心の理解が深まったとは参加学生のコメントです。一方で、季節感を大切に保育のあり方に感銘を受ける学生もあり、大変有意義なイベント参加となりました。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		出前授業	
実施日時・期間		令和元年9月2日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	釧路市立山花小中学校
		市町村名	釧路市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		釧路校の研究協力指定校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		へき地・小規模校教育研究センター	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学法人	
	担当者・担当委員会など	へき地・小規模校教育研究センター	
	運営者とその人数	小出高義 センター員1名,	
	対象者とその人数	小学生9名、中学生10名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		山花神社祭の奉納相撲大会に向けた相撲指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターと協力協定を締結している釧路市立山花小中学校での出前授業となる。山花小中学校は、釧路市の特認校であるが、地域との結びつきが特段深い学校である。これまでは、釧路校とへき地・小規模校に関する研究指定校として連携を図ってきたが、山花小中学校からのリクエストにより、地域の秋祭りにおける、児童・生徒の奉納相撲の技能向上を目指した出前授業となった。これは、昨年度試験的行った相撲の出前授業により、子どもたちの山花神社祭における奉納相撲の取り組みが向上したことにより、地域の方々からさらに指導して欲しいという要望があったことによる。</p>			
			
中学生 準備運動		中学生 礼に始まり礼に終わる	
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		出前授業	
実施日時・期間		令和元年9月26日・27日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	鉦路町立昆布森小学校
		市町村名	鉦路町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		鉦路校の研究協力指定校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		へき地・小規模校教育研究センター	
事業提案者 (プルダウニリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウニリストから選択)	大学法人	
	担当者・担当委員会など	へき地・小規模校教育研究センター	
	運営者とその人数	小出高義、センター員1名、鉦路校学生16名	
	対象者とその人数	全校児童20名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		昆布森神社祭の奉納相撲大会に向けた相撲指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、昆布森神社(鉦路町)で行われるお祭りの奉納相撲に参加する児童に、相撲を指導するものである。本事業は一昨年度より実施しているが、その指導効果が地域の奉納相撲で評価され、継続して依頼を受けている。2年生以上の児童は、授業者(小出)が3年目の指導者となるため顔を覚えており、授業へもスムーズに入ることができた。また、このような武道や相撲の指導場面を見たことのない鉦路校の保健体育免許取得希望者も、武道授業の一環として、その指導法を学ぶことができた。</p>			
			
塵手水から対戦へ		秋の奉納相撲での様子	
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		出前授業	
実施日時・期間		令和2年2月6日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立桜岡中学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		なし	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		なし	
事業提案者 (プルダウニリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウニリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	小出高義	
	運営者とその人数	小出高義	
	対象者とその人数	中学生12名, 教科担任1名および教諭4名, 学生1名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		出前授業における授業研究会	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>この武道「相撲」の出前授業は、旭川市の特認校であり、へき地・小規模校である桜岡中学校から、依頼を受けて実施したものである。5年前から小規模の中学校ゆえに、体育の免許外教諭が体育を担当せざるを得なくなった。これまでも保健体育の教科担任が変わるごとに、相撲の出前授業を要請されてきた。教科担任には、研究資料を提示するとともに、授業導入部分を参観してもらうことにより、相撲授業のイメージを掴んでもらった。また、参観した希望学生は、中学生に胸を貸す場面も含め、武道における指導法の実際に触れさせることができた。</p>			
			
四股の行い方		男子の対戦	
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 課題研究英語発表会	
実施日時・期間		令和元年6月24日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道旭川西高等学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		北海道旭川西高等学校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)			
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	理科教育専攻 永山 昌史	
	運営者とその人数	大学教員1名, 旭川校大学院生4名	
	対象者とその人数	旭川西高等学校 理数科3年生40名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		理数科3年生 課題研究英語発表会における講評・評価	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>北海道旭川西高等学校では、スーパーサイエンスハイスクール事業の一環として、創造性・独創性・研究開発意欲の向上や、様々な課題に対応するための論理的・科学的思考力の育成をねらいとした課題研究を実施している。具体的には、理数科2年生の40名が5名前後の8グループ(物理分野1グループ, 化学分野3グループ, 生物学分野2グループ, 地学分野1グループ, 数学分野1グループ)に分かれて理科および数学の各分野についての研究を継続的に行ってきた。</p> <p>本発表会は課題研究に昨年度取り組んだ3年生がその成果を「英語」で全校生徒の前で口頭発表するものであり、担当教員(永山)と理科教育専攻の大学院生4名が出席した。質疑応答まで全て英語のみであったが、非常によく練習がされているとともに、何より生徒が自身の成果をジャスチャーを含めて一所懸命に伝えようとする姿勢が素晴らしかった。</p> <p>7月以降、2年生の課題研究が本格的に開始されるため、引き続きサポートしていく予定である。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 第1回中間報告会	
実施日時・期間		令和元年7月17日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道旭川西高等学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		北海道旭川西高等学校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		科学技術振興機構	
事業提案者 (プルダウニリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウニリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	理科教育専攻 永山 昌史	
	運営者とその人数	大学教員1名, 旭川校大学院生4名	
	対象者とその人数	旭川西高等学校 理数科2年生40名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		理数科2年生 課題研究の中間報告会における助言	
<p>活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。</p> <p>北海道旭川西高等学校では、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、創造性・独創性・研究開発意欲の向上や、様々な課題に対応するための論理的・科学的思考力の育成をねらいとした課題研究を実施している。具体的には、翌年度6月の最終発表(英語)を目標とし、理数科2年生の40名が5名前後のグループに分かれて理科の各分野についての研究を継続的に行っている。</p> <p>2年生が研究開始から数か月の成果を1年生および3年生に対してポスター発表する中間報告会が7月17日に開催され、先方からの依頼により永山と理科教育専攻の大学院生4名(1年生3名, 2年生1名)が助言者として参加した。</p> <p>計8件(物理分野2件, 化学分野2件, 生物学分野3件, 地学分野1件)の発表を聴講し、高校生の気付いていない面白さを研究者の視点で伝えるとともに、今後どのような検討が必要かや関連分野の研究動向等の助言を行った。</p> <p>今後も昨年同様、11月に第2回中間報告会, 12月に全校向け発表会, 翌6月に最終発表会(英語)というスケジュールで進められるとのことなので、都合のつく限りフォローをしていきたい。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 第2回中間報告会	
実施日時・期間		令和元年11月13日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道旭川西高等学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		北海道旭川西高等学校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		科学技術振興機構	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	理科教育専攻 永山 昌史, 村山 幸一	
	運営者とその人数	大学教員2名, 旭川校大学院生3名	
	対象者とその人数	旭川西高等学校 理数科2年生40名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		理数科2年生 課題研究の中間報告会における助言	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>北海道旭川西高等学校では、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、創造性・独創性・研究開発意欲の向上や、様々な課題に対応するための論理的・科学的思考力の育成をねらいとした課題研究を実施している。具体的には、翌年度6月の最終発表(英語)を目標とし、理数科2年生の40名が5名前後の8グループ(物理分野2グループ, 化学分野2グループ, 生物学分野3グループ, 地学分野1グループ)に分かれて理科の各分野についての研究を継続的に行っている。</p> <p>第2回中間報告会に、先方からの依頼により永山, 村山と理科教育専攻の大学院生3名が助言者として参加した。各グループ10分間の口頭発表が実施され、第1回中間報告会(ポスター発表)からの4か月間の進捗状況を中心に、12月の最終発表会に向けた研究発表がなされた。各発表に対し、残り1か月で取り組むべき測定値の統計的な取り扱いや結果の解釈、必要となるであろう追加実験およびプレゼン技術などについての助言を行った。</p> <p>次回、12月13日には最終発表会が実施される予定であり、都合をつけて出席したいと考えている。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		令和元年度北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール 課題研究・課題探究発表会	
実施日時・期間		令和元年12月13日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道旭川西高等学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		北海道旭川西高等学校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		科学技術振興機構	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	理科教育専攻 永山 昌史, 村山 幸一	
	運営者とその人数	大学教員2名	
	対象者とその人数	旭川西高等学校 2年生239名(普通科199名, 理数科40名)	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		課題研究・課題探究の最終発表会における助言	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>北海道旭川西高等学校では、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、創造性・独創性・研究開発意欲の向上や、様々な課題に対応するための論理的・科学的思考力の育成をねらいとした課題「研究」を実施している。具体的には、理数科2年生の40名が5名前後の8グループ(物理分野2グループ, 化学分野2グループ, 生物学分野3グループ, 地学分野1グループ)に分かれて理科および数学の各分野についての研究を継続的に行ってきた。</p> <p>本発表会では、7月と11月に開催された中間報告会をふまえて結果のまとめを行い、約8月間にわたる研究成果を発表するものである。1か月前の中間報告会での助言が生かされ、特にプレゼン技術がどのグループも飛躍的に向上していた。来年6月の英語発表会に向け、研究の出口へ意識や興味をつなげられるような助言を行った。</p> <p>午後からは、課題「探究」の最終発表会として、普通科239名による43件のポスター発表が行われた。時間の都合上全てを拝聴することはできなかったが、どの発表も生徒たち自身の好奇心や興味の見える発表であり、非常に感銘を受けた。身近ことに興味を持ち、調べ、それを発表するというプロセスの面白さを今後も忘れないでほしいと願う。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的実施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		HOKKAIDO サイエンスフェスティバル	
実施日時・期間		令和2年2月1日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市公会堂, 旭川勤労者福祉会館
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		北海道旭川西高等学校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		北海道教育委員会	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	理科教育専攻 永山 昌史, 関口 朋彦	
	運営者とその人数	大学教員2名	
	対象者とその人数	北海道地区SSH指定校及び教職員180名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		高校生の口頭発表・ポスター発表への助言	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は, 北海道地区のSSH指定校の生徒が一堂に会し, 各校での活動状況や研究成果の発表を行い議論することで, 相互に刺激しあい, 研究内容の深化や研究活動の活性化を図ることを目的として, 1年に1回, SSH指定校の持ち回りで開催しているものである。</p> <p>本年度は旭川西高校を主管として旭川地区で開催されたため, 永山と関口が依頼を受け, それぞれ物理学分野と地学分野の指導助言講師として参加したものである。午前中は9校の代表による口頭発表, 午後は34件のポスター発表が行われた。どの発表も良く準備されており, 高校生が日常生活のどこに科学的興味を持つのかを知ることができた。また, 継続的に大学と連携している研究は, 非常に質が高く, 学会発表と比較しても遜色ないものであった。北海道の地域性を生かした発表も多く, 研究活動を通じて地域への愛着や誇りを持てる点も素晴らしいと感じた。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 <u>[全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]</u>
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

地域連携活動 実施報告シート

事業名称		わくわくサイエンス アサヒカワノカガク	
実施日時・期間		令和2年2月9日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市科学館サイバル 特別展示室
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		一般社団法人 旭川ウェルビーイングコンソーシアム	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		旭川市教育委員会, 旭川医大, 旭川大学短期大学部, 北海道教育大学旭川校	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	理科教育専攻 永山 昌史	
	運営者とその人数	大学教員2名, 旭川校学生4名	
	対象者とその人数	市民(特に中学生以下)	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		市民向け科学イベントへの出展	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川ウェルビーイングコンソーシアムが主催する市民向けの体験型実験講座であり、コンソーシアム設立当初から定期的開催され続け、今回で第10回目となった。理科教育専攻物理学ゼミの学生4名と永山が参加し、「振るだけで水がお湯に・・・?」と「音を見る」という2つの物理学実験を体験できるブースを出展した。他には、旭川医大、旭川短大に加え、市内高等学校によるブースも出展された。</p> <p>当日は、旭川冬まつりと日程が重なっていたにもかかわらず、10時～16時までの開催中は来客が途切れることなく、サイバルの特別展示室が常に人に埋め尽くされているほどの大盛況であった。私たちのブースにも、保護者を含めて70名以上が立ち寄り、実験を楽しみながらも、学生の解説に熱心に耳を傾けていた。参加した学生たちにとっては、興味がなくなるとすぐに飽きてしまう小学校低学年や園児と接し、相手の年齢に合わせて原理をどこまで説明するのか?という点に苦労しながらも得るものが大きかったようである。</p> <p>特に教員志望の学生にとって、教職や理科の面白さを再確認する場として、今後もこのような機会を活かしていきたいと考える。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進>北海道教育大学の地域連携推進]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

学生ボランティア派遣事業（概要）

北海道教育大学旭川校
地域教育連携・貢献推進委員会

1. 本事業のねらい

相互協力協定を締結している北海道教育大学と旭川市との協力事業の一つとして、旭川校の学生を派遣要請のあった旭川市内の小・中学校に派遣することを通し、学生のボランティア意識の高揚や教職に求められる資質能力の向上を期待するとともに、確かな学力や豊かな人間性などの育成を目指し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな教育活動を支援することにより、地域社会への貢献と旭川校の実践的教育研究の充実を図る。

2. 事業開始

2005（平成17）年（後期12月）

* 当初、3年計画で実施。その後、事業の成果に鑑み継続実施し、現在に至っている。

3. 活動内容

教育課程内の教育活動（学習指導、特別支援学級支援等）

4. 学生派遣までの過程等

(1) 1年間を前・後期の2期に分けて実施（前期：5月～9月、後期：10月～2月）

(2) 学生派遣までの流れ（前、後期共通）

- 1) 小中学校の申請のとりまとめ（市教委）
- 2) 説明会（大学）
- 3) 派遣校への通知（市教委）
- 4) 事前指導（大学）
- 5) 打ち合わせ（学生・派遣校）
- 6) 活動開始
- 7) 事後指導（大学）
- 8) 活動報告書の取りまとめ（大学、市教委）

(3) 活動計画書及び報告書Ⅰ・Ⅱの提出

- ・活動計画書：活動開始前に、学校との打合せ終了後に大学に提出
- ・活動報告書Ⅰ・Ⅱ：活動終了後に大学に提出

(4) 学生ボランティア派遣事業連絡協議会の開催

年度末の3月に、旭川教育委員会・旭川市小、中学校校長会・大学の三者でその年度の事業全体にわたっての事業報告・協議等を行い、次年度に生かす。

5. 派遣校及び学生実績数（2005年度後期～2019年度）

年 度	期	小 学 校			中 学 校			派 遣 総 数
		申請校数	派遣校数	派遣学生数	申請校数	派遣校数	派遣学生数	
2005 (平成 17)	後期	28	24	97	9	6	9	106
2006 (平成 18)	前期	20	20	70	10	7	8	78
	後期	27	21	61	8	3	5	66
2007 (平成 19)	前期	21	17	63	5	1	3	66
	後期	30	18	49	5	3	6	55
2008 (平成 20)	前期	24	18	54	9	2	9	63
	後期	32	22	62	7	6	15	77
2009 (平成 21)	前期	27	17	80	8	4	11	91
	後期	27	20	75	9	7	19	94
2010 (平成 22)	前期	19	7	27	10	7	11	38
	後期	28	17	59	13	11	26	85
2011 (平成 23)	前期	21	12	33	9	7	10	43
	後期	34	12	41	13	10	25	66
2012 (平成 24)	前期	13	11	22	10	2	2	24
	後期	34	16	37	15	6	13	50
2013 (平成 25)	前期	26	13	45	10	5	11	56
	後期	36	29	79	12	9	38	117
2014 (平成 26)	前期	29	13	39	13	8	14	53
	後期	39	25	88	12	7	18	106
2015 (平成 27)	前期	36	28	76	12	9	21	97
	後期	37	27	92	12	9	24	116
2016 (平成 28)	前期	38	16	47	11	8	21	68
	後期	35	23	82	11	8	26	108
2017 (平成 29)	前期	35	19	74	10	4	21	95
	後期	37	26	76	8	5	26	102
2018 (平成 30)	前期	31	14	63	9	6	20	83
	後期	35	19	76	9	5	28	104
2019 (令和 1)	前期	31	15	51	10	7	27	78
	後期	29	21	84	11	8	27	111

* 派遣学生数については、一人で複数校参加もあり、延べ人数を示す。

6. 活動内容の概要（2005 年度後期～2019 年度）

（1）学習指導の補助

・ 授業の指導補助

机間巡視 個別指導補助 学習規律指導補助 支援が必要な児童生徒への学習支援補助
版画 ミシン 理科実験 書写 調理実習等の指導補助・準備等
特に小学校における算数や中学校における数学、英語学習の補助が多い

・ 放課後学習、長期休暇中の学習指導補助

・ 水泳学習、スキー学習における指導補助

・ 生活科や総合学習で校外に出かける際の引率補助

（2）特別支援学級の児童生徒への指導補助

・ 学習及び生活全般にわたる補助、普通学級との交流学习の際の補助

（3）学校行事への補助

・ 運動会、遠足、学芸会などの補助

・ 中連大会の引率補助

（4）学校図書館運営の補助

・ 学校図書館充実への補助、図書委員会活動への補助、本の読み聞かせ活動への補助

7. 成果

* 小・中学校の教育活動の充実（上記の「活動内容」についての貢献）

* 大学としての主たる目的である地域貢献に寄与するとともに、教職を目指す学生にとっての実践的資質能力の習得及び向上に大きな貢献となっている。

* 受け入れ学校及び旭川市教育委員会にとって、欠かすことのできない事業となってきている。

8. 小・中学校からの要望

* 本事業の継続

* 水泳学習やスキー学習への多人数の派遣

* 特別支援学級への継続的な派遣

* 通年を通しての同一学生の派遣

9. 課題

* 派遣申請学校の約 5～6 割しか派遣できていない。また大学近郊の小中学校への派遣が多く、遠距離、小規模校への派遣が少ない。

* ほとんどの学生は、意欲的に活動し学校からの感謝の声も多いが、一部学生は、マナーやボランティアとしての資質に欠ける面が見られる。説明会や事前指導でボランティアの意義等について再度周知する必要がある。

令和元年度 授業公開講座開講一覧

前期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	漢文学概論Ⅰ	大橋 賢一	8人
2	社会学演習Ⅰ	角 一典	3人
3	社会学概論	角 一典	8人
4	社会学特講	角 一典	6人
5	篆書法Ⅰ	西川 竜矢	8人
6	音楽教育学概説Ⅰ	芳賀 均	2人

後期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	漢文学購読Ⅱ	大橋 賢一	3人
2	社会調査論	角 一典	2人
3	現代と社会Ⅱ	角 一典	5人
4	かな書法Ⅱ	西川 竜矢	9人
5	草書法Ⅱ	西川 竜矢	6人
6	篆書法Ⅱ	西川 竜矢	4人
7	音楽教育学概説Ⅱ	芳賀 均	2人
8	小学校音楽科教育法AH	芳賀 均	1人
9	小学校音楽科教育法BCD	芳賀 均	1人
10	小学校音楽科教育法EFG	芳賀 均	1人
11	日本文学概論(近代)	村田 裕和	6人

令和元年度 一般公開講座開講一覧

後期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	「ムソルグスキー《展覧会の絵》を味わい尽くす」	木村 貴紀・芳賀 均	5人

令和元年度 大学訪問受入実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	内容
31.04.16	北海道紋別高等学校 (1年生)	44人	施設見学・授業見学・出身学生との懇談 ※宿泊研修の一環
31.04.23	北海道枝幸高等学校 (1年生)	68人	出身学生との懇談・模擬授業・施設見学 ※宿泊研修の一環
01.05.15	北海道遠軽高等学校 (1年生)	72人	施設見学・授業見学・出身学生との懇談 ※宿泊研修の一環
01.06.20	北海道天売高等学校 (1・2年生)	10人	施設見学・授業見学・学食利用
01.08.06	北海道名寄高等学校 (2年生)	19人	出身学生との懇談・施設見学
01.08.26	旭川市立永山中学校 (3年生)	25人	模擬授業・施設見学
01.09.18	北海道士別翔雲高等学校 (1年生)	42人	施設見学
01.10.21	北海道旭川南高等学校 (1年生)	48人	施設見学・出身学生との懇談・授業見学・学食利用
01.11.07	北海道旭川永嶺高等学校 (1・2年生)	65人	出身学生との懇談・模擬模擬授業

令和元年度 出前講座実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	講師
01.07.12	帯広大谷高等学校 (1年生)	20人	社会科教育専攻 角 一典 教授
01.07.19	北海道旭川永嶺高等学校 (2年生)	26人	数学教育専攻 相馬 一彦 教授
01.07.23	北海道遠軽高等学校 (2・3年生)	33人	芸術・保健体育教育専攻 音楽分野 芳賀 均 講師
01.08.30	北海道おといねっぶ美術工芸高等学校 (1・2年生)	76人	社会科教育専攻 角 一典 教授
01.09.18	北海道留萌高等学校 (1・2年生)	30人	英語教育専攻 金山 幸平 特任講師

令和元年度 審議会等委員派遣一覧

委嘱された審議会・委員会等	任期
北海道教育委員会・北海道スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	H27.5.15～R2.3.31 R1.5～R2.3.31
旭川市・環境審議会委員	H29.4.24～H31.4.23 R1.6.1～R3.5.31
旭川市・旭川市行財政改革推進委員会委員	H29.6.1～R1.5.31 R1.6.1～R3.3.31
旭川市・旭川市廃棄物減量等推進審議会委員	H29.6.1～R1.5.31 R1.6.1～R3.5.31
旭川市・旭川市奨学生等選考委員会委員	H29.7.1～R3.6.30
旭川市教育委員会・旭川市民文化会館運営審議会委員	H29.7.1～R1.6.30 R1.7.1～R3.6.30
旭川家庭裁判所・家庭裁判所委員会委員	H29.8.3～R1.8.2 R1.8.5～R3.8.4
旭川市教育委員会・旭川市音楽堂等運営協議会委員	H29.9.1～R1.8.31 R1.9.1～R3.8.31
旭川市・旭川市国民健康保険運営協議会委員	H29.9.6～R1.9.5 R1.9.6～R4.9.5
旭川市・旭川市情報公開・個人情報保護委員会委員	H29.10.1～R1.9.30 R1.10.1～R3.9.30
旭川市・旭川市工芸センター運営委員会委員	H29.12.1～R1.11.30 R1.12.1～R3.11.30
旭川地方裁判所・簡易裁判所判事推薦委員会委員	H29.12.18～R2.12.17
旭川市・旭川市住居表示等審議会委員	H30.1.26～R2.1.25 R2.2.1～R4.2.28
旭川市・旭川市市民参加推進会議委員	H30.2.27～R2.2.26 R2.2.27～R4.2.26
旭川市・旭川市消費生活会議委員	H30.2下旬～R2.2下旬 R2.2下旬～R4.2下旬
旭川弁護士会・綱紀委員会予備委員	H30.4.1～R2.3.31
旭川市・旭川市国際交流委員会委員	H30.4.1～R2.3.31
旭川家庭裁判所・家事調停委員	H30.4.1～R2.3.31
みずほ信託銀行株式会社・公益信託井原長治記念育英基金運営委員	H30.4.1～R2.3.31
国立大雪青少年交流の家・施設業務運営委員会委員	H30.4～R2.3.31
旭川市教育委員会・旭川市社会教育委員	H30.5.1～R2.4.30
上川教育研修センター・上川教育研修センター運営協議会委員	H30.5～R2.3.31

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市教育委員会・中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会委員	H30.6.1～R2.5.31
北海道立旭川美術館・北海道立旭川美術館協議会委員	H30.6.10～R2.6.9
北海道・「北海道史編さん委員会」専門委員	H30.6.14～R2.6.13
旭川市教育委員会・旭川市図書館協議会委員	H30.6～R1.11.30 R1.12.1～R3.11.30
旭川市教育委員会・旭川市博物館協議会委員	H30.7.1～R2.6.30
旭川市・旭川市食育推進会議委員	H30.7.1～R2.6.30
旭川市・旭川市生活館運営審議会委員	H30.7.7～R2.7.6
旭川市・子ども・子育て審議会委員	H30.7～R3.7
旭川市教育委員会・旭川市文化財審議会委員	H30.8.1～R2.3.31
旭川市・旭川市総合計画審議会委員	H30.8～R1.7
旭川市・屋外広告物審議会委員	H30.8～R2.8
旭川市・旭川市景観審議会委員	H30.9.24～R2.9.23
旭川市・人権擁護委員	H30.10.1～R3.9.30
旭川市・景観アドバイザー	H30.10.30～R2.10.29
旭川市・旭川市緑の審議会委員	H30.10～R2.10
市立旭川病院・倫理委員会委員	H30.12.27～R2.12.26
北海道教育庁上川教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査に係る意見聴取会委員	H31.4.1～R2.3.31
北海道教育庁宗谷教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査に係る意見聴取会委員	H31.4.1～R2.3.31
北海道教育庁留萌教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査に係る意見聴取会委員	H31.4.1～R2.3.31
北海道美深高等養護学校・学校評議員	H31.4.1～R2.3.31
第一管区海上保安部・心の健康対策アドバイザー	H31.4.1～R2.3.31
北海道旭川北高等学校・学校評議員	H31.4.1～R2.3.31
北海道旭川養護学校・学校評議員	H31.4.1～R2.3.31
旭川医科大学・倫理委員会委員	H31.4.1～R3.3.31

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川医科大学・旭川医科大学病院遺伝子治療臨床研究審査委員会委員	H31.4.1～R3.3.31
旭川家具工業協同組合・国際家具デザインフェア旭川開催委員会委員	H31.4.24～R2.3.31
北海道教育委員会・北海道教科用図書選定審議会調査員	H31.4.26～R1.8.31
北海道・北海道防災会議専門委員	H31.4.26～R2.3.31
公益財団法人教科書研究センター・授業における教科書の使い方に関する調査研究会委員	H31.4～R2.3.31
旭川市教育委員会・旭川市教育支援懇談会構成員	H31.4～R2.3.31
旭川市教育委員会・旭川市適応指導教室運営委員会委員	R1.5～R2.3.31
旭川市・あさひかわ創造都市推進協議会アドバイザー	R1.5～R2.3.31
国立教育政策研究所・プロジェクト研究に係る委員	R1.5～R2.3.31
旭川水道局・旭川市上下水道事業審議会委員	R1.6.1～R3.5.31
旭川市・旭川市民生委員推薦会委員	R1.6.1～R4.5.31
旭川市教育委員会・旭川市教科書調査委員会調査委員	R1.6.7～R1.8下旬
旭川市教育委員会・教育委員会の事務に関する点検・評価に係る意見提出者	R1.6中旬～R1.8下旬
北海道教育庁留萌教育局・留萌教育局管内特別支援連携協議会構成員	R1.6.24～R2.3.31
北海道教育庁留萌教育局・留萌教育局管内特別支援教育専門家チーム構成員	R1.6.24～R2.3.31
北海道立旭川高等看護学院・学校関係者評価会議委員	R1.6.26
旭川市教育委員会・旭川市立小・中学校適正配置計画検討懇談会構成員	R1.6下旬～R2.3.31
北海道上川総合振興局・北海道上川総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会委員	R1.6～R2.3.31
文部科学省初等中等教育局・学習指導要領英訳(仮訳)に関する検討会議(理科)協力者	R1.6～R2.3.31
北海道教育庁上川教育局・上川管内特別支援連絡協議会構成員	R1.6～R2.3.31
北海道教育委員会・中学校技術・家庭免許取得のための認定講習検討会議構成員	R1.7.3～R2.3.31
旭川少年鑑別所・地域援助業務に係るアドバイザー	R1.7.17
北海道・北海道希少野生動植物種保護対策検討有識者会議昆虫専門部会構成員	R1.7～R2.3.31
北海道上川総合振興局・大雪山火山防災協議会参加者(学識経験者)	R1.7～R2.3.31

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市教育委員会・旭川市いじめ防止等連絡協議会委員	R1.7～R3.3.31
旭川市教育委員会・旭川市いじめ防止等対策委員会委員	R1.7～R3.3.31
旭川市・旭川市放課後児童クラブ運営業務委託に係る公募型プロポーザル審査会委員	R1.8.7～R1.11.8
旭川市教育委員会・旭川市文化賞選考委員	R1.8.9～R1.11.3
北海道教育委員会・学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー	R1.8～R2.3.31
旭川クリーンセンター・旭川市ごみ減量等推進優良事業所認定審査会委員	R1.9～R1.11.20
国立大学協会・地方活性化に向けて国立大学群が目指すべき教育研究に関する検討WG分科会委員	R1.10.1～R3.6
北海道教育庁上川教育局・特別支援教育総合推進事業における上川管内専門家チーム構成員	R1.10～R2.3.31
株式会社朝日広告社・北海道エネルギー教育地域会議委員	R1.10～R2.3.31
独立行政法人日本学術振興会・科学研究費委員会専門委員	R1.12.1～R2.11.30
北海道教育委員会・北海道教育推進会議委員	R1.12.1～R3.11.30
旭川市教育委員会・旭川市民文化会館管理等業務選考委員会委員	R1.12～R2.3
旭川市・旭川市砂像制作隊派遣候補検討会メンバー	R2.1.10～R2.1.23
国立武蔵野学院・国立武蔵野学院図書・資料室運営委員会委員	R2.1～R3.3.3

令和元年度 講演会等講師・助言者等派遣一覧

依頼された講演会等	開催日	対象者
第3回日本DCD学会学術集会プレングレス(研修会)	H31.4.13	教育関係者
北海道旭川東高等学校 保健講話	H31.4.24	高校生
北海道教育庁留萌教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	R1.5.16 R1.9.12 R1.11.20	教育関係者
星の降る里芦別・星のソムリエ講座	R1.5.18 R1.5.19	資格取得希望者
地域生活支援ネットワークきらり 職員研修	R1.5.26	関係職員
旭川市立末広小学校 校内職員研修	R1.5.28 R1.6.18	教育関係者
妹背牛町教育推進協議会講演会	R1.6.11	教育関係者
上川教育研修センター研修講座	R1.6.12～ R2.3.10 (全20回)	教育関係者
美幌地区ことばを育てる親の会 会員研修	R1.6.22	一般市民
北・ほっかいどう総合カウンセリング支援センター 北・ほっかいどうカウンセラー養成講座	R1.6.25～ R1.9.26 (全4回)	資格取得希望者
ペアレントサポート 発達障害講演会	R1.6.28	一般市民
幌加内町立幌加内中学校 上川管内教育研究推進事業(道徳)	R1.6.28	教育関係者
大山町立大山小学校 授業研究会 西小研理科部会 授業研究会	R1.6.28	教育関係者
北海道教育庁後志教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	R1.7.1	教育関係者
石狩教育研修センター 数学科教育実技・理論研修会	R1.7.5	教育関係者
旭川市東鷹栖公民館 講座「安部公房を語る」	R1.7.6	一般市民
富良野市立富良野西中学校 校内職員研修	R1.7.8	教育関係者
北海道教育庁学校教育局 課題解決型授業(主体的・対話的で深い学び)に関する 調査研究プロジェクト 推進地域連携協議会	R1.7.9 R2.2.20	教育関係者
北海道滝川高等学校 フィールド研修	R1.7.16	高校生
北海道教育庁宗谷教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	R1.7.16 R1.8.21 R1.11.14	教育関係者
旭川市子ども総合相談センター研修事業 ペアレント・プログラム(研修型)	R1.7.16～ R1.12.10 (全8回)	一般市民
北海道旭川西高等学校 「SSH事業」課題研究	R1.7.17 R1.11.13	高校生
旭川調停協会さびたの会 研修会	R1.7.18	関係会員
北海道旭川西高等学校 「SSH事業」環境科学学習	R1.7.18	高校生
北海道教育庁オホーツク教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	R1.7.19	教育関係者
国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害者地域支援マネージャー研修会	R1.7.25	関係職員

依頼された講演会等	開催日	対象者
ソニー科学教育研究会(SSTA) 全国特別研修会	R1.7.27～ R1.7.29	教育関係者
十勝教育研修センター 研修講座	R1.7.30	教育関係者
岩手県社会科教育研究会 夏の研修会	R1.7.30	教育関係者
中頓別町文化塾	R1.7.31	一般市民
鷹栖町教育委員会 鷹栖町指導改善(道徳教育)プロジェクト部会	R1.7 R1.11 R1.12	教育関係者
第46回北海道情緒障害教育研究会上川・旭川大会	R1.8.1 R1.8.2	教育関係者
北海道教育庁学校教育局 「子どもの体力向上ボトムアップ事業」授業改善プロジェクト事業	R1.8.1～ R2.3.31 (全4回)	教育関係者
胆振英語教育研究協議会 サマーセミナー	R1.8.3	教育関係者
大谷保育協会 保育心理士養成講座	R1.8.4	資格取得希望者
秀明大学教育研究所 第4回「高校生のための学校教師未来塾in旭川」	R1.8.6 R1.8.7	高校生
日本教育大学協会養護教諭部会 全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会 第54回研究協議会	R1.8.7 R1.8.8	教育関係者
ソニー科学教育研究会(SSTA) 東日本ブロック特別研修会	R1.8.7～ R1.8.9	教育関係者
旭川市教育研究会中学校国語部古典班 夏期研修会	R1.8.8	教育関係者
北海道学童保育連絡協議会 放課後児童支援員認定資格研修	R1.8.24	資格取得希望者
上川管内言語障害教育研究会 講習会	R1.8.29	教育関係者
上川管内言語障害教育研究会 富良野地区研修会	R1.9.5	教育関係者
北海道教育庁学校教育局 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた対応に係るテレビ会議	R1.9.9	教育関係者
北海道教育庁オホーツク教育局 オホーツク管内ミドルリーダー養成研修	R1.9.10	教育関係者
鶴居村立下幌呂小学校 北海道道徳教育推進校事業公開研究会	R1.9.20	教育関係者
北海道教育庁日高教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	R1.9.26 R1.10.25 R1.11.13	教育関係者
富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」 発達障害アセスメントツール導入研修	R1.9.29	関係職員
上川管内教育研究会 各地区研究大会	R1.10.1 R1.10.2 R1.10.3	教育関係者
国立障害者リハビリテーションセンター 巡回支援専門員研修会	R1.10.2	関係職員
第43回北海道学校図書館研究大会旭川大会	R1.10.4 R1.10.5	教育関係者
第34回北海道・東北地区小学校家庭科教育研究大会北海道大会 第57回北海道小学校家庭科教育研究大会札幌大会 第13回札幌市小学校家庭科教育研究大会	R1.10.11	教育関係者
旭川市小・中学校教育研究大会	R1.10.16	教育関係者
富良野市教育研究会 総合教育研究大会	R1.10.16	教育関係者

依頼された講演会等	開催日	対象者
旭川市屋外広告物講習会	R1.10.17	関係事業者
第40回鳥取県小学校教育研究会西伯郡部会研究発表会 第19回鳥取県小学校教育研究会理科部会研究大会	R1.10.18	教育関係者
S.E.N.S(特別支援教育士)の会北海道支部会 第3回継続研究会	R1.10.20	教育関係者
旭川少年鑑別所 所内勉強会	R1.10.21	関係職員
北海道教育庁胆振教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	R1.10.29	教育関係者
新冠町立新冠中学校 北海道道德教育推進校事業公開研究会	R1.10.31	教育関係者
北海道教育庁上川教育局 地域連携研修	R1.11.1 R1.12.6	教育関係者
第52回全国小学校理科研究協議会研究大会岐阜大会	R1.11.7 R1.11.8	教育関係者
北海道高等学校教育研究会 石狩支部国語研究会	R1.11.8	教育関係者
第50回遠紋地区高等学校数学教育研究協議会	R1.11.8	教育関係者
第47回道南音楽教育研究大会(函館大会)	R1.11.8	教育関係者
発達協会 指導力・支援力向上セミナー	R1.11.10	教育関係者
宮城県社会福祉協議会宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」 Vineland-Ⅱ(適応行動尺度)研修会	R1.11.10	関係職員
上川管内学校給食研究協議会栄養士部会研修会 学校給食普及充実事業研修会	R1.11.13	教育関係者
上川管内学校体育研究大会・南部大会	R1.11.15	教育関係者
上川管内スポーツ少年団連絡協議会 スポーツリーダー養成講習会 スポーツ少年団認定員養成講習会<上川管内会場>	R1.11.17	少年団指導者
神奈川県立生田高等学校 公開研究授業	R1.11.19	教育関係者
北海道教育庁日高教育局 地域連携研修	R1.11.20	教育関係者
北海道教育庁空知教育局 地域連携研修	R1.11.21 R2.2.14	教育関係者
滝上町立滝上中学校 北海道道德教育推進校事業公開研究会	R1.11.22	教育関係者
第69回稚内市教育研究大会 第59回稚内市複式教育研究大会	R1.11.22	教育関係者
地域生活支援ネットワークきらり 地域生活支援研修会	R1.11.30	関係職員
富良野市立樹海中学校 北海道道德教育推進校事業公開研究会	R1.12.4	教育関係者
高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター職業センター Vineland-Ⅱに係る研修	R1.12.9	関係職員
北海道旭川西高等学校 「SSH事業」課題研究・課題探求発表会	R1.12.13	高校生
北海道教育庁釧路教育局 地域連携研修	R1.12.23	教育関係者
北海道高等学校教育研究大会 教科部会	R2.1.9	教育関係者
日高管内教育課程研究協議会	R2.1.9	教育関係者
北海道私立幼稚園協会 教員免許状更新講習	R2.1.10 R2.1.11	教育関係者
臨床発達心理士認定運営機構 日本臨床発達心理士会 臨床発達心理士全国資格更新研修会	R2.1.12	資格更新希望者

依頼された講演会等	開催日	対象者
士別市教育委員会 小中学校における新学習指導要領の実施に向けた研修会	R2.1.14	教育関係者
稚内市立大岬小学校 校内研修	R2.1.15	教育関係者
旭川市スポーツ少年団 リーダー養成宿泊研修会	R2.1.25	少年団員
旭川市子ども総合相談センター 第12回研修事業	R2.1.31	教育関係者
北海道旭川西高等学校 「SSH事業」HOKKAIDOサイエンスフェスティバル	R2.2.1	高校生 教育関係者
旭川家庭裁判所 第3回家庭裁判所調査官自庁研修	R2.2.3	関係職員
旭川市教育研究会 算数・数学部総括研究大会	R2.2.4	教育関係者
国立武蔵野学院附属児童自立支援専門員養成所 講演	R2.2.4	資格取得希望者
社会福祉法人旭川ねむのき会 職員研修	R2.2.13	関係職員
北海道教育庁宗谷教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「英語力の向上支援事業」	R2.2.14	教育関係者
北海道教育庁石狩教育局 石狩管内女性教員を対象としたミドルリーダー養成研修	R2.2.25	教育関係者
旭川市教育研究会 理科部2月研修会	R2.2.27	教育関係者
旭川障害者総合相談支援センターあそと 医療と福祉と教育の連携研修会	R2.2.29	教育関係者 関係職員